

R 6 大豆栽培農事メモ

第4号(刈取情報)

エンレイ・
そらひびき版

令和6年10月11日
白山石川営農推進協議会
石川中央農業共済組合
松任市農業協同組合

エンレイやそらひびきは、「黄葉期」から「落葉期」と成熟にバラツキがあります。また、里のほほえみも、黄葉期を迎えております。

圃場毎に黄葉期や落葉期から成熟期を予想し、収穫作業の準備を行い、適期を迎えた圃場から順に収穫して下さい。

☆刈取適期予想☆

エンレイ：刈始め10月17日頃～

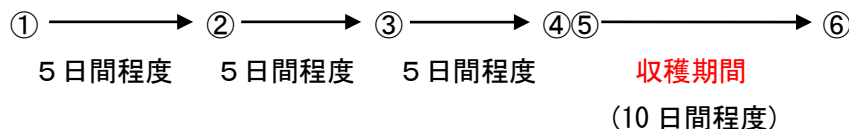
そらひびき：10月20日頃～

※里のほほえみの刈取適期は、後日改めてお知らせします。

成熟期の目安

- ① 黄葉期から概ね15日後です。地力の差や湿害の程度により、圃場間及び圃場内の個体間で成熟の早晩の差が大きくなるので、黄葉期や落葉状況を把握して、成熟期を予想し適期収穫に努めてください。
 - ② 特に黄葉期頃は、圃場間の成熟スピードを把握しやすいので、この時期に圃場をよく観察し、収穫作業計画で刈取り順を決める参考にしてください。
- ※ 強風などで強制落葉した圃場は「葉柄の黄化」を参考にしてください。

☆黄葉期から収穫期までの日数の目安



①黄葉期

圃場内の着生葉の80～90%が黄化した状態



②③落葉期

②圃場内の株の3割が葉柄も含め完全に落葉
③同8割が落葉



④成熟期

圃場内の大豆の莢が80～90%褐変し、莢を振って音のする状態

⑤収穫開始

子実水分20%以下、
茎水分60%以下

⑥収穫限界

これ以降は品質が大幅に低下

注) ⑥収穫限界は腐敗粒等による品質低下の限界。しわ粒の増加は考慮していない

1 コンバイン刈取り適期

莢や子実の水分が18～20%以下
茎の水分が60%以下

※刈取り時の子実の水分が20%以上では損傷粒、
茎の水分が60%以上では汚損粒が増えるので、
大豆の茎・莢・子実の水分を的確に把握し刈取り作
業を行ってください。

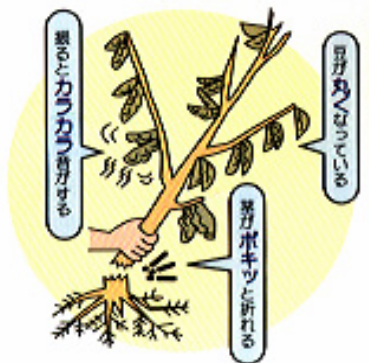
【圃場全体の簡易判断基準】

株：葉が完全に落ちて茎と莢だけになっている。

莢：莢が黄化して約2週間経過し、茎を揺さぶるとカラカラと音を立てる。

豆：粒が球形になり、硬くなって、爪を立てると爪跡がわずかにつく。

茎：完全に茶色く枯れ上がり、手でポキッと折れる。



↑ 葉が残る緑株・茎が緑色の株は抜く

2 葉が付いている株、茎が緑色の株や雑草の除去

汚損粒発生防止のため、刈取り作業前に、圃場内の緑色の茎やアメリカセンダングサ、タデ等の雑草を除去してください。

3 刈取り作業の注意点

- ① 大豆刈取り時の土による汚損粒やゴミの混入は、豆腐などの製品に雑菌が繁殖する原因となるため、実需者から最も嫌われるので注意してください。
- ② 土や雑草を機械に入れないように大豆が乾燥した状態で刈る必要があるので、朝露の残る早朝の作業は避け、午前10時以降に刈るようにしてください。
- ③ 刈取り部に土が入らないように刈高さを注意し、万一土が入った場合は直ちに停止して、刈取り部等の清掃を行ってください。
- ④ 刈遅れは、しわ粒の発生や品質低下の要因となるので、適期に刈取りを行ってください。